

事業所名 ふわり諫早 児童発達支援センター

公表日 令和7年 2月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	7		
	2	職員の配置数は適切であるか	7		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		構造化はお子様の状況に合わせてながら行っています。お子様の成長に合わせて必要に応じて改善していきたいと思えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	7		
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		職員会議を実施し、支援会議や日々の支援等の振り返りを行っています。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7		保護者の方のご協力のもと、実施させていただきました。ご協力ありがとうございます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の室の評価及び改善の内容を、事業所の解放やホームページ等で公開しているか	7		保護者の方のご協力のもと、実施させていただき、法人HPに公開させていただきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		
	9	職員の資質の向上を図るために、研修の機会が確保されているか。	7		事業所勉強会(月1)等を実施しています。また、外部の研修・勉強会に参加しています。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	7		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員で担当を持ち全員が必ず受け持つように組み立てています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		

提供	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	7		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	活動の振り返り等、できていますが、共有のみで終わっているケースもあるため、方向性を考え振り返りや気づき等共有できるようにしていきたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	7		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6	1	必要に応じて連絡を取らせて頂いています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	7		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		
	関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援支援内容等の情報共有と相互理解を測っているか	7	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者の方のご意向や必要に応じて実施させていただいています。サポートブックを作成し、情報共有をさせて頂き、安心して通うことが出来るように取り組んでいます。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		専門機関と連携し、助言や研修を受けています。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	併行通園されているお子様も通われています。事業所で外出支援等を行い、諫早市内にある図書館や遊具施設(子どもの城・公園等)に行き触れ合う機会を設けています。
29		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1	子ども部会に参加させていただいています。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	5	2	親子療育や面談等で、応用行動分析等を参考にし、お家で出来ることの取り組み等お伝えをさせて頂きました。また、ペアレント・メンターを招き茶話会を実施しています。今後は、ペアレント・トレーニング等保護者勉強会の実施を考えていきたいと思っています。
32		運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		

保護者への説明等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	7		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	卒園式を実施し、ご家族・親族の方のご参加をさせて頂いております。施設内行事は行っていますが、地域住民の招待までは出来ていない為、検討していきたいと思っております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	45	ヒヤリハットを事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	ヒヤリとしたことが起きた場合は、書類に記入して、職員間で周知しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		